令和４年度事業報告

Ⅰ．総務に関する事項

１．会　　議

（１）総　　会

第４４回　通常総会

令和４年６月２１日（火）午前１１時００分から大津市梅林一丁目１４番１７号「滋賀県農業共済会館３階大会議室」において開催し、下記議案を付議、原案通り議決された。

第１号議案　令和３年度事業報告及び収支決算（案）について

第２号議案　令和４年度会費及び会費徴収（案）について

第３号議案　役員の補欠選任（案）について

報 告 事 項　令和３年度公益目的支出計画実施報告書（案）について

臨時総会

令和４年７月１１日（月）書面表決により開催し、下記議案を原案通り議決された。

第１号議案　役員の補欠選任（案）について

（２）理 事 会

第１回理事会

令和４年６月２１日（火）午前１０時００分から大津市梅林一丁目１４番１７号「滋賀県農業共済会館３階大会議室」において開催し、総会付議事項及び公益目的支出計画実施報告書等について協議決定した。

第２回理事会

令和４年７月８日（金）書面表決により開催し、役員の補欠選任について協議決定した。

第３回理事会

令和５年３月１５日（水）午後２時００分から大津市梅林一丁目１４番１７号「滋賀県農業共済会館３階大会議室」において開催し、令和４年度事業報告及び見込収支（案）、令和５年度事業計画及び収支予算（案）、基本財産処分（案）について協議決定した。また、公益目的支出計画終了後の滋賀県植物防疫協会の解

散（案）、一般社団法人滋賀県植物防疫協会の解散に関する委員会の設置（案）について協議した結果、今回の議案からは除外し、精査した上で次回理事会に改めて提案することとなった。

（３）監 事 会

令和４年５月３１日（火）午後２時００分から大津市梅林一丁目１４番１７号「滋賀県農業共済会館２階中小会議室」において開催し、令和３年度事業実施状況及び予算執行状況について監査を受けた。

（４）幹 事 会

第１回幹事会　令和４年６月１０日（金）「滋賀県農業共済会館３階大会議室」において開催し、第１回理事会付議事項、令和３年度事業報告及び収支決算（案）、令和４年度会費及び会費徴収（案）等について協議した。

第２回幹事会　令和５年３月３日（金）「滋賀県農業共済会館３階大会議室」において開催し、第３回理事会付議事項、令和４年度事業の執行状況並びに令和５年度事業計画及び収支予算（案）等について協議した。

（５）滋賀県植物防疫協会の今後のあり方に関する検討会

第１回　令和４年６月８日（水）「滋賀県農業共済会館２階役員室」において開催し、植防協会の今後の運営と課題について協議した。

第２回　令和４年１０月１８日（火）「滋賀県農業共済会館２階役員室」において開催し、植防協会の今後の運営と収支見通しによる経営上の課題について協議した。

（６）植防協会事業運営調整会議

令和４年１２月２２日（木）「滋賀県農業共済会館２階役員室」において開催し、一般社団法人植物防疫協会の今後の事業運営に関する方針について協議した。

２．会　　員

令和４年度末の会員数は４３団体であった。

正 会 員　１２団体（前年度１２団体）

賛助会員　３１団体（前年度３２団体）

会 費 区 分	収入決算額（円）
正　会　員	2,７６０,０００
賛 助 会 員	７６０,０００
合 計 金 額	３,５２０,０００

Ⅱ．植物防疫推進事業に関する事項

１．共同防除事業推進会議

共同防除事業推進会議並びに無人ヘリ防除安全運航対策会議

令和４年７月１日（金）ＪＡ全農しが野洲総合センター会議室おいて、農薬危害防止運動、４年産水稲生育と病害虫発生状況について協議し、引き続き無人ヘリコプター・ドローンの飛行安全対策について協議した。

２．機関誌の発行、配布

「滋賀植物防疫」を発行し関係機関、団体等に配布した。

第６８巻第１号（令和４年度事業計画、展示ほ、委託試験）

第６８巻第２号（令和４年度共同防除事業実績、農薬展示ほ成績書等）

支出区分	支出決算額（円）	作成部数（部）	作成時期
１　号	７２,６００	１１０	7月
２　号	１３３,１００	２２０	3月
合計金額	２０５,７００	３３０	

３．適正防除推進事業に関する事項

１．農薬安全使用普及啓発

（１）「滋賀県農作物病害虫雑草防除基準」を印刷して、市町病害虫防除協議会、賛助会員等に配布し、安全適正防除の推進を図った。

支出区分	支出決算額（円）	備　考
防除基準印刷代	７９,１７８	
合 計 金 額	７９,１７８	

Ⅲ．農薬委託試験及び展示ほ受託事業に関する事項

１．委託試験事業

新しく開発された剤について、農薬登録に必要な試験成績を作成、検討評価し、優れた防除法の確立に貢献した。

（１）一般社団法人日本植物防疫協会から水稲、野菜、果樹、花き、茶等の殺菌・殺菌殺虫剤２３剤を受託し、農業技術振興センターに委託実施した。

（２）公益財団法人日本植物調節剤研究協会から水稲・茶除草剤６剤を受託し、農業技術振興センターに委託実施した。

２．農薬展示ほ事業（技術確認圃）

新しい農薬の実証展示、普及性の検討を行い、その結果を県防除基準への登載に向けた資料とした。

（１）公益財団法人日本植物調節剤研究協会並びに賛助会員から水稲・麦・大豆・野菜の除草剤及び殺菌殺虫剤の効果確認の展示ほ２１剤・３０件を受託し、各地域農業農村振興事務所農産普及課等の協力を得て実施した。

区　　分	収入決算額（円）	支出決算額（円）
日植防受託収入	４,１０８,５００	県委託費　５,３０２,５５０ 諸謝金　　１５５,０００
日植調受託収入	１,０５６,０００	
展示ほ受託収入	１,３３１,０００	
日植防助成金収入	８２,１７０	
合 計 金 額	６,５７７,６７０	５,４５７,５５０

（２）展示ほ設計検討会（４月２１日）、水稲除草剤現地巡回検討会（６月２３日）、水稲除草剤成績検討会（７月２９日）、殺菌・殺虫剤成績検討会　（１２月２日）を開催し、実用性の高い薬剤については、「県農作物病害虫雑草防除基準」に登載されることとなった。

３．農薬委託試験等事業運営委員会

令和５年３月２４日（金）に農業技術振興センター加工棟研修室において、令和５年度農薬展示ほ設置運営等について協議した。

Ⅳ．共同防除事業に関する事項

１．無人ヘリコプター、ドローン防除

（１）無人ヘリコプター防除は、３９実施団体等で１８，１１３ｈａが実施され、このうち２３団体から委任を受け、水稲２，７３６ｈａ、麦２，０１７ｈａ、大豆５０６ｈａと合わせ５，２５９ｈａ（前年対比 93.3% 375ha 減）を受託した。

無人ヘリコプター防除　　（　）は前年度実績

作　物	協　会　受　託	受託割合	全　　県
水　稲	２，７３６ha（３，０１７）	29.3%	９，３４５ha　（　９，９３０）
麦	２，０１７　（１，９２７）	32.4	６，２１６　（　５，６３６）
大　豆	５０６　（７０７）	19.8	２，５５２　（　３，１４３）
合　計	５，２５９　（５，６５１）	29.0	１８，１１３　（１８，７１０）

ドローン防除　　（　）は前年度実績

作　物	協　会　受　託	受託割合	全県（協会への報告分）
水　稲	１２９ha　（１７）	5.5%	２，３５９ha　（　２，２４４）
麦	１３７　（０）	6.7	２，０５３　（　１，３６３）
大　豆	０　（０）	0	６６１　（　５８９）
合　計	２６６　（１７）	5.2%	５，０７３　（　４，１９６）

区　　分	収入決算額（円）	支出決算額（円）
散布受託収入	９４,１９６,１３５	
防除業者負担金収入	２,７６２,３５０	
実施団体負担金収入	５５２,４７０	
散布委託費		９４,１９６,１３５
事務委託費		５５０,０００
合　計　金　額	９７,５１０,９５５	９４,７４６,１３５

（２）無人ヘリコプター防除安全運航対策会議の開催

第１回　令和４年　７月　１日（金）

無人ヘリ・ドローン飛行安全対策と農薬の適正散布について協議した。

第２回　令和４年　９月２８日（水）

無人ヘリ・ドローン適正防除と安全対策、令和４年度無人ヘり委託防除の実績と課題について協議した。

（３）第２２回 無人ヘリ飛行技術競技会の開催

無人ヘリオペレーターの飛行技術の向上と安全啓発及び会員相互の交流を図るため、令和４年１０月２５日（火）に、近江八幡市津田町の近江八幡市立運動公園グラウンドにおいて、飛行技術競技会を開催した。

競技には、１１チームが出場し飛行技術を競った。入賞者には賞状とカップ（盾）、副賞を授与した。

［競技会結果］

優勝　　寺島 裕人・宿谷 良人（共同ファーム）

準優勝　上野 穣　・野田良輔（市原地区布引営農組合）

なお、１１月２日（水）静岡県袋井市で開催の「第３１回全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会」に県代表として２チームが出場し健闘した。

（４）無人ヘリ防除に関する情報の収集と提供

【通　知】

5 月 27 日「令和４年度無人航空機による農薬等の空中散布における安全対策について」

農林水産省消費・安全局植防疫課長からの上記の安全対策を各無人ヘリ・ドローン防除実施関係団体等へ通知した。

6 月 14 日「令和 3 年度農薬危害防止運動の実施について」　（県農政水産部長）

5 月 31 日「令和４年度農薬危害防止運動の実施について」（県農政水産部長）

5 月 31 日「滋賀県無人航空機農薬散布に係る安全ガイドラインの一部改正について（通知）」（県農政水産部長）

【散布計画書の提出】

県内の無人ヘリコプターによる散布計画書（麦・水稲・大豆）をガイドラインの要項に基づき県を通じて農林水産省へ報告した（３月、７月、８月）。

ドローン散布計画書はガイドラインに基づきその都度県へ報告した。

【散布実績書の報告】

県内の無人ヘリコプターによる散布実績書（麦・水稲・大豆）をガイドラインの要項に基づき県を通じて農林水産省へ報告した（3 月）。

ドローン散布実績書はガイドラインに基づき 3 月に県へ報告した。

【無人ヘリ使用周波数の混信による事故防止】

県内の無人ヘリ委託・自主防除散布計画一覧表」を麦・水稲・大豆別に作成し、散布前に各実施団体およびヘリ所有者並びに関係団体へ FAX 送付し、無人ヘリの使用周波数を散布者が確認し会い、混信による事故回避に努めた。（麦　４月　水稲　８月　大豆９月）